

完工へ緊張感持続を

東北道舗装補修工で 佐藤渡辺の鎌田社長

佐藤渡辺の鎌田修治社長は、岩手県八幡平市や青森市で施工を進める「東北自動車道R6青森管内舗装補修工事」（発注者＝NEX



CO東日本東北支社青森管理事務所）の現場で安全パトロールを実施した。写真。鎌田社長のほか、原田秀一技術顧問、藤岡勝巳安全環境部部長、東北支店の小川源太郎執行役員支店長、須田寛之工事部長が参加した。

鎌田社長は「昨年6月から本施工が始まり、あと数カ月で工事が完了する。当社職員、協力会社とも長きにわたり施工を共にして、良い意味で『慣れ』が生じてきている。そういう時に事故・災害が発生しやすいため、毎朝の朝礼などで緊張感を持続するように指導を徹底してほしい」と講評した。

小川支店長は「最後まで気を引き締めて無事故・無災害で竣工を迎えてほしい」と呼び掛けた。

同工事は、安代ICから青森ICまでの東北自動車道と、青森JCTで分岐した青森東ICまでの青森自動車道の舗装を補修するも

の。パトロール当日は、青森IC内の管理事務所内駐車場舗装工事で上層路盤工、本線部は下り線の間瀬川橋での床版上面はつり工（ウオータージェット）を施工していた。

